

第67回 全国高等学校PTA連合会大会 静岡大会

式辞・祝辞



「有徳の人」づくり

～未来のために行動する「一人」を育てよう～

式 辞



一般社団法人全国高等学校PTA連合会 会 長

まき た かず き
牧田 和樹

皆さん、おはようございます。

まずもって、本日、お忙しい中、林文部科学大臣、そして川勝静岡県知事さんを初めたくさんの御来賓の皆さま方に御臨席いただきましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

いよいよ第67回全国大会静岡大会が開催されます。

全国高等学校PTA連合会では、全国大会を全国各地で開催しております。というのも、各地で開催することによって、参加される皆さん方にそれぞれの地域の風土ですとか歴史ですとか文化ですとか、そういったものを感じていただくことを期待しています。

私も昨日、レセプションが終わりましてから、杉浦実行委員長の御案内で静岡名産の、ウナギとお茶が一推しですけれども、おちゃけというやつを頂戴いたしまして、かなり静岡を堪能させていただいたわけであります。

さて、話は変わりますが、この静岡に入る前に、シンガポールと台湾を訪問しておりまして、シンガポールの教育事情を視察してまいりました。

御存じのとおりシンガポールというのは、OECDのPISAのスコアでハイスコアをたたき出している国であります。そのシンガポールという国でどのような教育が行われているのか少し見てきたわけです。

お時間がないのでかいつまんで申し上げますと、小学校を卒業する段階でテストがあって、そのテストで全てが振り分けられてしまう。一言で言えば、まさにグローバルスタンダードといいますが、国際競争力をつけるために子どもたちが小学校を卒業する段階で競争させられている。当然、それだけの勉強をすればPISAの成績も上がるわけでありませうけれども、私はそれを見て、少し何か違うんじゃないかなということを感じてきました。

我が国の教育と比べて何が足りないんだろう、何が少し違うんだろうかということをよくよく考えてみますと、精神といえますか心根といえますか人間性といえますか、そういったものが我が国にはしっかりと根づいているのかなと思うわけでありませう。

先ほど、全国大会が各地で行われるという話をしましたけれども、実は、それぞれの国

に応じた教育事情というか風土があるわけでありまして、我が日本には、やはり道徳性といえますかそういったものが昔から脈々と我々のDNAとして埋め込まれているのではないかと感じたわけです。

そのようなこともありまして、今回の静岡大会のテーマは「有徳の人」づくりということでありませう。有徳、まさに我が国が大切にしなければならぬ大きなテーマだろーと思ひます。

今大会は9,388名の方の御登録をいただいておりますけれども、全国からこの静岡に

お集まりの皆さん、ぜひ、この「有徳の人」づくりをキーワードに有意義な時間をお過ごしただけだと思ひます。

この2日間が皆さま方にとってすてきな時間でありませうことをお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。



祝 辞



文部科学大臣

はやし よしまさ
林 芳正 様

皆さま、おはようございます。
御紹介いただきました文部科学大臣でございます。
第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会がこのように、9,000名を超える皆さまがお集まりになられまして盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げたいと思います。
また、この開催に当たって御尽力されました一般社団法人全国高等学校PTA連合会、また静岡大会実行委員会の皆さま方に深く敬意を表します。
そして、本日御参集の皆さま方におかれましては、日ごろから高等学校におけるPTA活動を通じ、学校、家庭、地域の架け橋として、子供たちの健全育成に御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。
言うまでもなく、教育は「未来への先行投資」でありまして、教育再生は政府の最重要課題の一つでございます。文部科学省では、教育再生を実現するための取組を多々進めておるところでございます。特に高校生をめぐる学校教育につきましては、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜を一体的に行う高

大接続改革を推進しております。
具体的には、高等学校の学習指導要領の改訂を予定しておりますし、「高校生のための学びの基礎診断」、「大学入学共通テスト」の実施方針等を7月に策定・公表いたしまして、現在、今後の運用、実施に向けての取組を進めておるところでございます。
また、PTAの皆さま方をはじめ幅広い地域住民の皆さまの参画により、地域と学校が連携・協働いたしまして、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えて、そして地域を創生していきます「地域学校協働活動」を推進するために、義務標準法等の改正にあわせまして社会教育法も改正され、「地域学校協働活動」に係る連携協力体制の整備等に関する規定を新たに整備いたしましたところでございます。
PTA活動に携わる皆さま方は、言うまでもなく自分のお宅のお子様だけではなくて全ての子供たちのためという気持ちを持って仕事、そして家庭との両立などさまざまな工夫をしていただいていることと存じます。私自身も高1の娘を持つ一人の親として、その

ような皆さま方の熱意や日ごろの御尽力に心より感謝を申し上げますとともに、文部科学省としても皆さまと手を携えて我が国の教育の一層の充実に努めて参る所存でございます。
結びに、今回の大会が実り多いものとなりまして、全国高等学校PTA連合会のますますの御発展と、そして御参集の皆さま方の一層の御活躍を御祈念申し上げて、お祝いの言葉といたします。
おめでとうございます。



祝 辞



静岡県知事

かわ かつ

川勝

へい た

平太

様

このたび「第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会」が、ここ“ふじのくに”静岡県において、盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。また、全国各地からお集まりの皆様を、心から歓迎いたします。

皆様方におかれましては、日頃から、子供たちの健やかな成長を願い、愛情と熱意をもって積極的に教育活動に取り組んでいただいております。学校と家庭、地域との連携や青少年の健全育成に、多大な貢献をいただいておりますことを感謝申し上げます。

また、本日は、PTA活動の推進において特色ある優れた実践を行っている団体、個人の表彰も行われると伺っておりますが、受賞された方々に対しまして、心よりお祝い申しあげるとともに深く敬意を表します。

さて、静岡県は、日本の国土のシンボルである美しく雄大な「富士山」を抱き、「住んでよし、訪れてよし」「生んでよし、育ててよし」「学んでよし、働いてよし」の「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」を県政運営の基本理念に掲げております。そして、この美しい“ふじのくに”を次代へつなぐため、自らの資質能力を伸ばすとともに、多様な生き方や価値観を認め合い、より良い社会づくりのために行動する「有徳の人」の育成に取り組んでいるところであります。

今回、この「有徳の人」の育成を、本大会のメインテーマとしていただいております。PTAの皆様におかれましては、霊峰・富士の姿のように、気品をたたえ、調和した人格をもつ「有徳の人」の育成を目指し、本大会の研究・協議を通じて大いに研鑽を積まれ、それぞれの地域でのPTA活動に生かしていただきますようお願い申し上げます。

また、本大会のメイン会場となっております、ここエコパでは、来年2018年は全国高等学校総合体育大会が、そして、2019年にはラグビーワールドカップが開催される予定です。かつて、サッカーワールドカップも開催されたこの会場は、日本全国、そして、世界の人々の、交流の場となっております。

本大会において、全国各地からお集まりの皆様が、この静岡県で地域を越えた交流を深められ、PTA活動の輪が一層広がり、明日の日本、世界を担う人材の育成につながっていきますよう御期待申し上げます。

結びに、本大会の開催に当たり、多大な御尽力を賜りました関係者の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、本大会の御盛会と、御出席の皆様方のますますの御発展、御健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。